

一般社団法人全国医学部長病院長会議 ヒアリング資料

医師の勤務環境改善策の取り組み状況 についての緊急調査

平成29年11月10日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

「医師の勤務環境改善策の取り組み状況についての緊急調査」の概要

加盟病院において実施されている医師の勤務環境改善策の取り組み状況を把握することを目的に、「医師の勤務環境改善策の取り組み状況についての緊急調査」を実施

調査対象

- 一般社団法人全国医学部長病院長会議に加盟する80施設に対してアンケート調査を実施。
- 調査期間 : 平成29年10月17日(木)～11月6日(月)
- 発送数 80施設 回収数 73施設(回収率 91.3%)

調査内容

- 次の項目について調査を実施。
 - ① 基本属性(設置主体、救急等、病床数、医師数、看護師数)
 - ② 勤務環境改善策の取り組み状況
(36協定締結状況等の概況、医師勤務時間短縮の取り組み、効率的な医療提供に向けた取り組み等)
 - ③ 勤務環境改善策の効果

I. 回答施設の属性

- 設置主体については、国立大学法人は54.8%。私立学校法人は35.6%。
- 全ての施設が500床以上である。
- 救急告示病院（3次）は75.3%。

設置主体

	件数	割合
国立大学法人（本院）	40件	54.8%
私立学校法人	26件	35.6%
地方独立行政法人	6件	8.2%
市町村	1件	1.4%
無回答	0件	0.0%
合 計	73件	100.0%

病床数

	全体
20～49床	0.0%
50～99床	0.0%
100～199床	0.0%
200～499床	0.0%
500～999床	71.2%
1000床～	27.4%
無回答	1.4%
合 計	100.0%
平 均	861.2床

救急等

	件数	割合
救急病院（3次）	55件	75.3%
救急病院（2次）	32件	43.8%
救急病院（1次）	8件	11.0%
総合周産期母子医療センター	31件	42.5%
地域周産期母子医療センター	24件	32.9%
無回答	0件	0.0%
総 数	73件	

医師数・看護師数

	平均値
常勤医師数（男性）	280.1人
常勤医師数（女性）	67.0人
非常勤医師数（男性）	110.9人
非常勤医師数（女性）	59.1人
後期研修医数（免許取得後3～5年目）	100.1人
初期研修医数	60.7人
看護師数（常勤）	852.5人
助産師数（常勤）	35.3人

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：労働条件 体制・システム【概況①】

- 36協定を締結していない施設は13.7%。36協定を締結しているが特別条項を締結していない施設は2.7%。
- 労基法上の宿日直勤務の許可申請を行わず、宿日直勤務としている施設は8.2%。
- 労働時間管理方法でICカード等客観的な方法で記録を行っている施設は11.0%。

36協定締結状況

	件数	割合
締結している（特別条項あり）	60件	82.2%
締結している（特別条項なし）	2件	2.7%
締結していない	10件	13.7%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

断続的な宿直又は日直勤務許可申請書の申請

	件数	割合
労基法の宿日直勤務に当たるものとして対応している	58件	79.5%
労基法の宿日直の許可申請を行わず、交代制で対応している	4件	5.5%
労基法の宿日直の許可申請を行わず、交代制ではなく時間外・休日労働として対応している	3件	4.1%
労基法の宿日直の許可申請を行わず、宿日直勤務として対応している	6件	8.2%
時間外・休日対応を行っていない	0件	0.0%
時間外・休日対応をやめた	0件	0.0%
無回答	2件	2.7%
合計	73件	100.0%

特別条項ありの場合、上限時間

	平均値
日当たりで定めている場合の時間数	8.5時間
週当たりで定めている場合の時間数	45.0時間
月当たりで定めている場合の時間数	77.9時間
年当たりで定めている場合の時間数	638.6時間

労働時間管理方法

	件数	割合
使用者の現認	1件	1.4%
タイムカードやICカード、パソコンの使用時間の記録等の客観的な記録	8件	11.0%
出勤簿または管理簿（自己申告と上司チェック）	44件	60.3%
出勤簿または管理簿（自己申告のみ）	15件	20.5%
その他	5件	6.8%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：労働衛生管理 体制・システム【概況②】

- 常時使用する労働者が50人以上で、衛生管理者を選任していない施設は2.7%。また、衛生委員会を設置していない施設は2.7%。
- 過去1年間の衛生委員会等で医師の長時間労働を議題としたことがない施設は50.7%。

衛生管理者の選任状況

	件数	割合
選任（常時使用する労働者が50人以上）	71件	97.3%
選任していない（常時使用する労働者が50人以上）	2件	2.7%
選任（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
選任していない（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

過去1年間の衛生委員会等で医師の長時間労働の議題の有無

	件数	割合
議題としたことがある	35件	47.9%
議題としたことがない	37件	50.7%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

衛生委員会の設置

	件数	割合
設置（常時使用する労働者が50人以上）	71件	97.3%
未設置（常時使用する労働者が50人以上）	2件	2.7%
設置（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
未設置（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

過去1年間の法定の長時間労働医師に対する医師の面接指導の実施状況

	件数	割合
該当医師に対して面接指導を実施	31件	42.5%
該当する医師がいたが、面接指導は実施せず	16件	21.9%
該当する医師がいなかった	20件	27.4%
無回答	6件	8.2%
合計	73件	100.0%

産業医の選任状況

	件数	割合
選任（常時使用する労働者が50人以上）	72件	98.6%
選任していない（常時使用する労働者が50人以上）	1件	1.4%
選任（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
選任していない（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

過去1年間の長時間労働医師に対する産業医等の面接指導

	件数	割合
1月当たりの時間外・休日労働が100時間超の医師からの申出に基づき面接指導を実施	14件	19.2%
1月当たりの時間外・休日労働が100時間超の医師からの申出はなかったが面接指導を実施	15件	20.5%
1月当たりの時間外・休日労働が100時間超の医師からの申出があったが面接指導は実施せず	2件	2.7%
1月当たりの時間外・休日労働が100時間超の医師はいなかったが、自主的取組として100時間未満の医師への面接指導を実施	5件	6.8%
1月当たりの時間外・休日労働が100時間超の医師はおらず、面接指導は実施しなかった	24件	32.9%
無回答	13件	17.8%
総数	73件	100.0%

産業医を選任している場合

	件数	割合
院長を産業医として選任	0件	0.0%
院長以外の医師を産業医として選任	72件	100.0%
無回答	0件	0.0%
総数	72件	

過去1年間の一般定期健康診断

	件数	割合
実施	72件	98.6%
実施せず	0件	0.0%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

過去1年間のストレスチェックの実施状況

	件数	割合
実施（常時使用する労働者が50人以上）	72件	98.6%
実施せず（常時使用する労働者が50人以上）	1件	1.4%
実施（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
実施せず（常時使用する労働者が50人未満）	0件	0.0%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：労働条件 体制・システム【概況③】

- 専門業務型裁量労働制の医師を雇用している割合は46.6%。
- 変形労働制による医師の雇用を行っている施設は68.5%。

診療科、雇用形態等による勤務実態の差異を踏まえて、 医師について時間数が異なる複数の36協定を締結しているか

	件数	割合
締結している	3件	4.1%
診療科によって異なる36協定がある	1件	1.4%
常勤・非常勤によって異なる36協定がある	0件	0.0%
外来・入院（病棟）によって異なる36協定がある	0件	0.0%
無回答	2件	2.7%
締結していない	69件	94.5%
無回答	1件	1.4%
合 計	73件	100.0%

就業規則や労働協約の定めによる勤務時間の繰り上げ、繰り下げを行っているか

	件数	割合
行っている	7件	9.6%
行っていない	65件	89.0%
無回答	1件	1.4%
合 計	73件	100.0%

専門業務型裁量労働制等による医師の雇用があるか

	件数	割合			合計
		ある	ない	無回答	
専門業務型裁量労働制による医師の雇用があるか	73件	46.6%	53.4%	0.0%	100.0%
変形労働制による医師の雇用があるか	73件	68.5%	31.5%	0.0%	100.0%
フレックスタイム制による医師の雇用があるか	73件	1.4%	98.6%	0.0%	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：労働衛生管理 体制・システム【概況④】

- 一回の勤務当たりの最長連続労働時間を定めている施設は9.6%。
- 勤務時間短縮に向け、病院から早く帰宅するよう積極的に促している施設は2.7%、声をかけている施設は50.7%、合計53.4%。
- 当直明けに何らかの勤務の配慮を行っている施設は37.0%。
- 週当たり当直上限回数を定めている施設は39.7%。

1回の勤務当たり最長連続労働時間や勤務間インターバルの定め

	件数	割合			
		定めている	定めていない	無回答	合計
1回の勤務当たり最長連続労働時間を定めているか	73件	9.6%	89.0%	1.4%	100.0%
終業時間から次の始業時間までの間隔（インターバル）を定めているか	73件	0.0%	98.6%	1.4%	100.0%

病院から早く帰宅するよう促しているか

	件数	割合
積極的に声をかけ促している	2件	2.7%
声をかけている	37件	50.7%
声をかけていない	33件	45.2%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

当直明けに何らかの勤務の配慮を行っているか

	件数	割合
行っている	27件	37.0%
行っていない	45件	61.6%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

週当たり当直上限回数を定めているか

	件数	割合
1回まで	29件	39.7%
2回まで	2件	2.7%
3回まで	0件	0.0%
4回以上の回数	1件	1.4%
定めていない	39件	53.4%
無回答	2件	2.7%
合計	73件	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：入院診療・外来診療 体制・システム【概況⑤】

- 入院診療において、原則、複数主治医制（一部の診療科では完全主治医制の場合を含む。）をとっている施設は46.6%、原則、完全主治医制だが、一部の診療科で複数主治医制をとっている施設は26.0%。
- 夜間急変時、時間外・休日におけるご家族への説明、看取り対応を原則、当直医が行っている施設は、53.4%、30.1%、32.9%であった。
- 外来診療では、一般外来患者を減らす取り組みを行っている施設は71.2%。

主治医制

	件数	割合
原則、完全主治医制	17件	23.3%
原則、複数主治医制	26件	35.6%
原則、完全主治医制だが一部の診療科では複数主治医制	19件	26.0%
原則、複数主治医制だが一部の診療科では完全主治医制	8件	11.0%
無回答	3件	4.1%
合計	73件	100.0%

終末期患者に対するリビングウィル・事前指示書の確認の徹底

	件数	割合
実施済	21件	28.8%
今後実施予定	22件	30.1%
実施予定なし	24件	32.9%
無回答	6件	8.2%
合計	73件	100.0%

夜間急変時等における主治医及び当直医の対応

	件数	割合				無回答	合計
		原則、主治医が行う	原則、当直医が行う	原則、主治医が行うが一部の診療科では当直医が行う	原則、当直医が行うが一部の診療科では主治医が行う		
夜間急変時等の対応	73件	0.0%	53.4%	8.2%	34.2%	4.1%	100.0%
時間外・休日における担当患者のご家族に対する説明	73件	26.0%	30.1%	26.0%	13.7%	4.1%	100.0%
時間外・休日における看取り対応	73件	20.5%	32.9%	21.9%	20.5%	4.1%	100.0%

一般外来患者数を減らす取組を行っている

	件数	割合
取り組んでいる	52件	71.2%
取り組んでいない（検討中）	9件	12.3%
取り組んでいない（予定なし）	11件	15.1%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

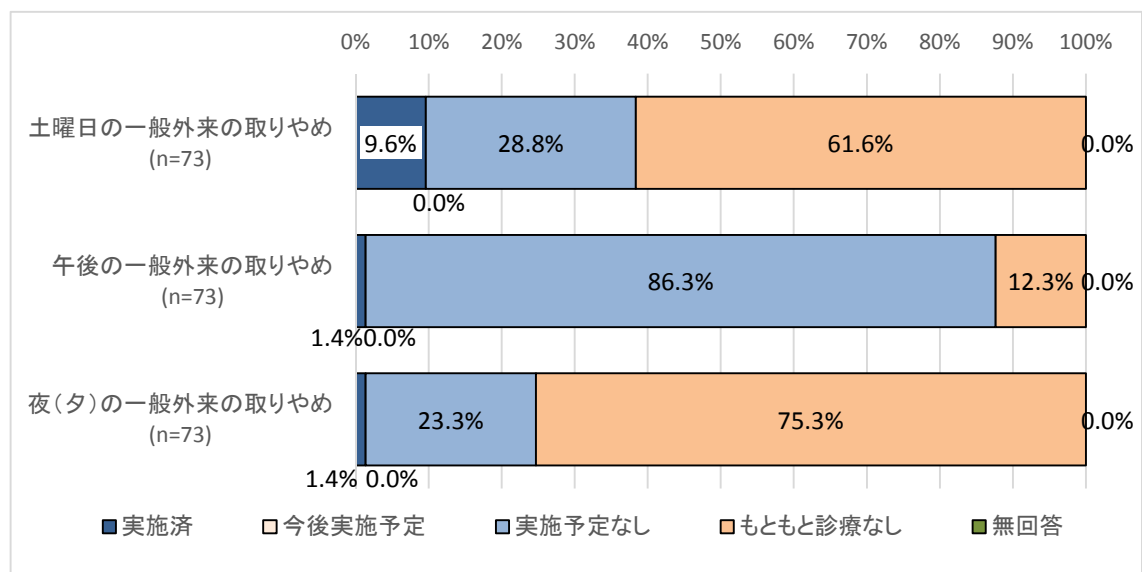
初診時選定療養費の設定

	件数	割合
導入済（増額を検討中）	14件	19.2%
導入済（増額は検討していない）	58件	79.5%
導入していない	1件	1.4%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：外来診療 体制・システム【概況⑥】

- 土曜日の一般外来の取りやめを実施済の施設は9.6%。
- 午後及び夜（夕）の一般外来の取りやめを実施済の施設はそれぞれ1.4%。

土曜日等の一般外来の取りやめ



Ⅱ. 勤務環境改善の状況：ハード設備 体制・システム【概況⑦】

- 病院敷地内や近隣に寮・職員住宅が整備されている施設は80.8%。
- 十分な休養が取れる当直室以外の仮眠室が院内にあるのは15.1%。
- 医師がいつでも預けられる24時間保育所が院内や近隣にあるのは、それぞれ13.7%、8.2%。

病院敷地内や近隣に寮・職員住宅がある

	件数	割合
ある	59件	80.8%
ない	14件	19.2%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

寮・職員住宅において配食や清掃などの家事等支援を行っている

	件数	割合
行っている	0件	0.0%
行っていない	73件	100.0%
無回答	0件	0.0%
合計	73件	100.0%

十分な休養が取れる当直室以外の仮眠室が院内にある

	件数	割合
十分にある	11件	15.1%
十分ではないが、ある	34件	46.6%
ない	27件	37.0%
無回答	1件	1.4%
合計	73件	100.0%

医師がいつでも預けられる24時間保育所が院内や近隣にある

	件数	割合				合計
		ある	ない	設置を検討中	無回答	
医師がいつでも預けられる24時間保育所が院内にある	73件	13.7%	80.8%	5.5%	0.0%	100.0%
医師がいつでも預けられる24時間保育所が近隣にある	73件	8.2%	91.8%	0.0%	0.0%	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：院内各種委員会 体制・システム【概況⑧】

- 医師の出席義務のある院内各種委員会会議は平均67会議体、開催回数は平均356回、開催時間は平均52.8分。
- 会議の開催方法を見直した施設は17.8%、検討中は41.1%。

医師の出席義務のある院内各種委員会会議数等

	件数	平均値
医師の出席義務のある院内各種委員会会議数	68件	67会議体
医師の出席義務のある院内各種委員会の開催回数	65件	356.0回/年
医師の出席義務のある院内各種委員会の開催時間	68件	52.8分/回

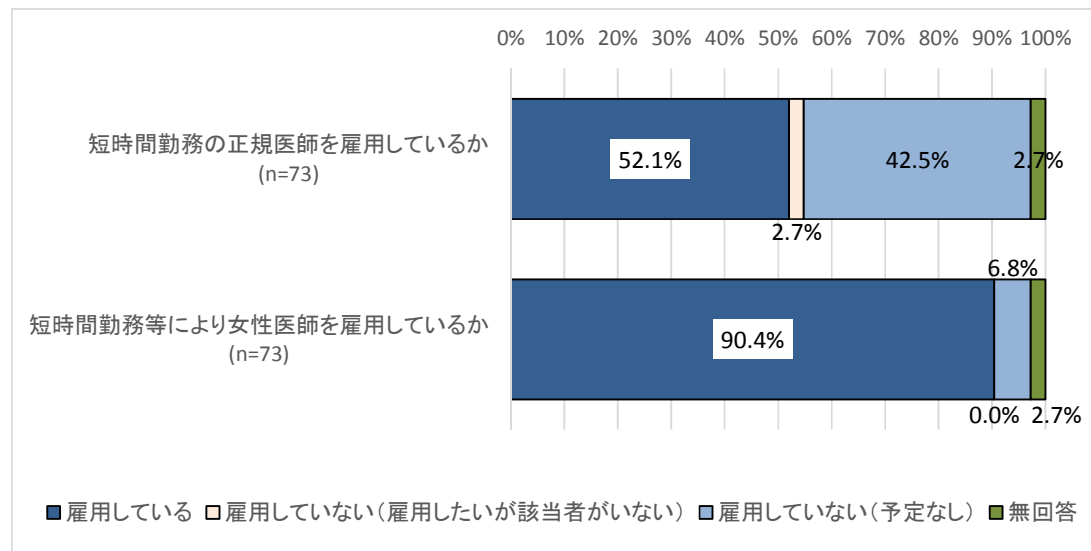
医師に出席義務のある院内各種委員会の
開催方法の見直し

	件数	割合
見直し済	13件	17.8%
見直しを検討中	30件	41.1%
見直す予定なし	27件	37.0%
無回答	3件	4.1%
合計	73件	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【医師と業務分担を行う職種①】

- 短時間勤務の医師を雇用している施設は52.1%。
- 短時間等による女性医師を雇用している施設は90.4%。
- ベテラン医師に本来免除されている当直や救急等に従事するように業務変更を行った施設は17.8%、検討中8.2%。

短時間勤務の正規医師等を雇用しているか



ベテラン医師を本来免除されている当直や救急等に従事するように業務変更している

	件数	割合
変更済	13件	17.8%
変更していない(検討中)	6件	8.2%
変更していない(予定なし)	51件	69.9%
無回答	3件	4.1%
合計	73件	100.0%

Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【医師と業務分担を行う職種②】

- 特定看護師が勤務している施設は32.9%。
- 病棟配置の医師事務作業補助者が勤務している施設は69.9%、外来配置の医師事務作業補助者が勤務している施設は79.5%。

医師と業務分担を行う職種の勤務状況

	件数	割合			合計
		勤務している	勤務していない	無回答	
医療安全、感染、教育等の専門家	73件	94.5%	5.5%	0.0%	100.0%
病棟薬剤師	73件	97.3%	2.7%	0.0%	100.0%
特定看護師	73件	32.9%	67.1%	0.0%	100.0%
認定看護師	73件	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
専門看護師	73件	95.9%	4.1%	0.0%	100.0%
前方・後方連携担当者	73件	97.3%	2.7%	0.0%	100.0%
病棟配置の医師事務作業補助者（診療支援）	73件	69.9%	30.1%	0.0%	100.0%
外来配置の医師事務作業補助者（診療支援）	73件	79.5%	20.5%	0.0%	100.0%
診療情報管理士	73件	98.6%	1.4%	0.0%	100.0%
医局秘書（管理業務支援）	73件	94.5%	5.5%	0.0%	100.0%

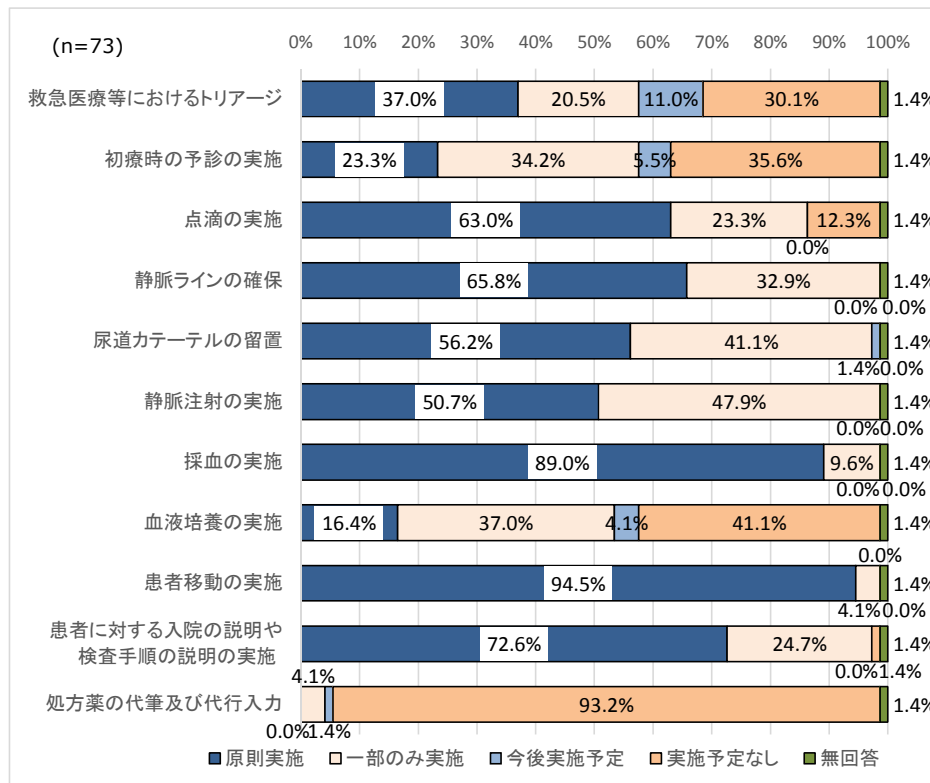
医師と業務分担を行う職種の増員予定

	件数	割合			合計
		増員予定あり	増員予定なし	無回答	
医療安全、感染、教育等の専門家	69件	21.7%	36.2%	42.0%	100.0%
病棟薬剤師	71件	31.0%	38.0%	31.0%	100.0%
特定看護師	24件	37.5%	25.0%	37.5%	100.0%
認定看護師	73件	60.3%	5.5%	34.2%	100.0%
専門看護師	70件	54.3%	7.1%	38.6%	100.0%
前方・後方連携担当者	71件	39.4%	33.8%	26.8%	100.0%
病棟配置の医師事務作業補助者（診療支援）	51件	37.3%	33.3%	29.4%	100.0%
外来配置の医師事務作業補助者（診療支援）	58件	50.0%	22.4%	27.6%	100.0%
診療情報管理士	72件	30.6%	41.7%	27.8%	100.0%
医局秘書（管理業務支援）	69件	8.7%	58.0%	33.3%	100.0%

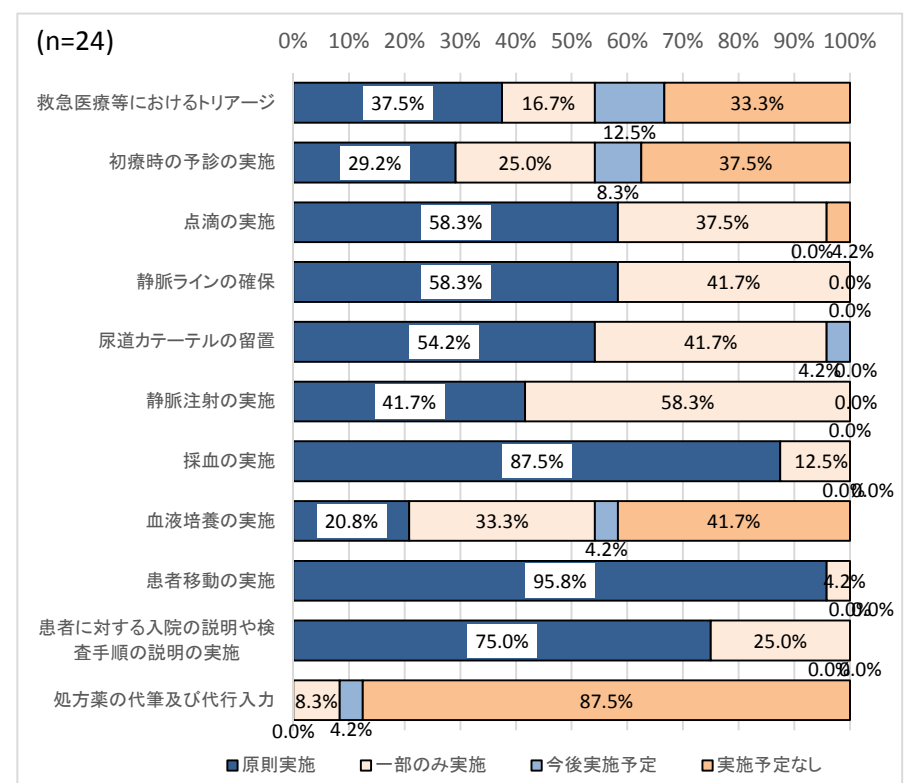
Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【看護師等が行っている業務①】

- 点滴の実施、静脈ラインの確保、尿道カテーテルの留置及び静脈注射の実施は、原則実施の割合が50.7～65.8%。一部のみ実施も合わせた割合は85%以上。

看護師等が行っている業務



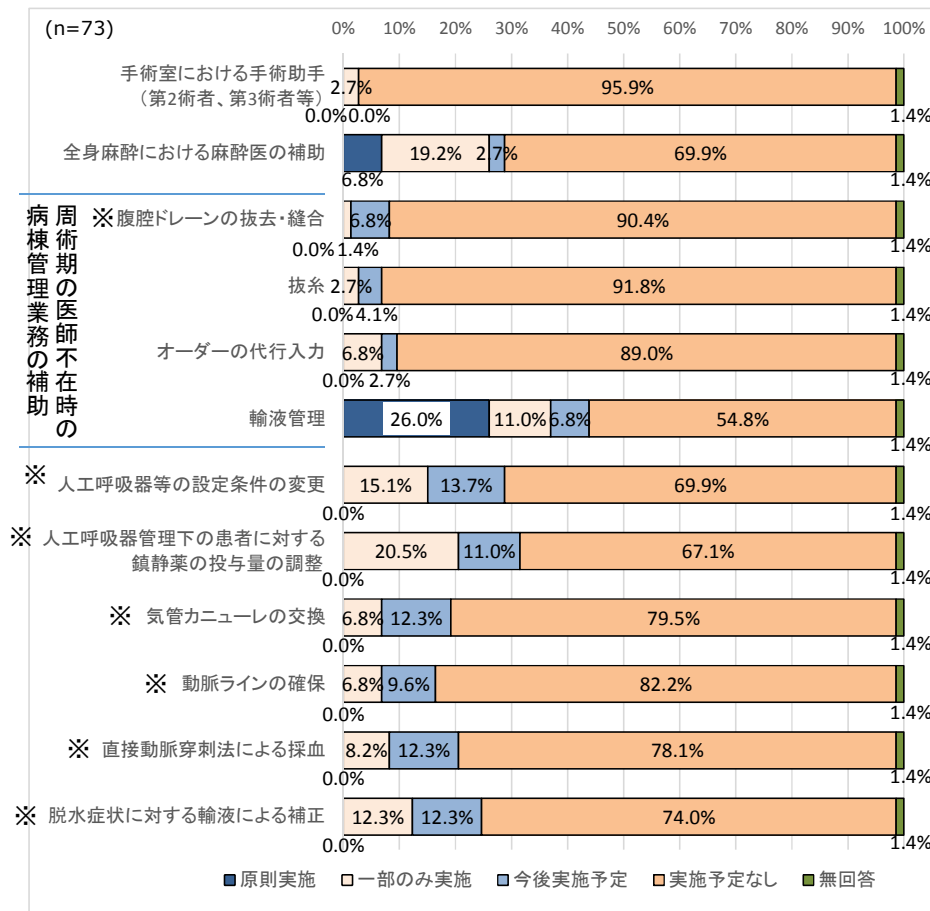
特定看護師の勤務している病院に限定看護師等が行っている業務



Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【看護師等が行っている業務②】

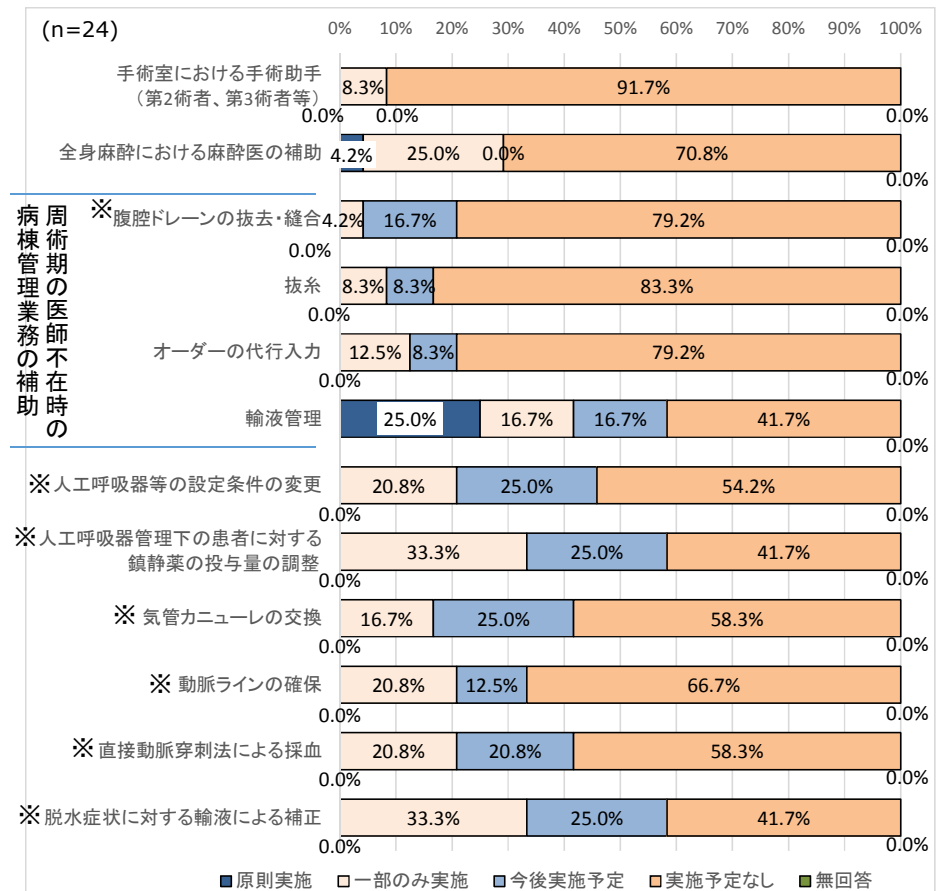
- 特定行為について、原則実施を行っている施設はほぼない。
- 特定看護師を採用している施設においては、特定行為等の原則実施、一部のみ実施の合計の実施率は概ね30%以下。

看護師等が行っている業務



※特定行為

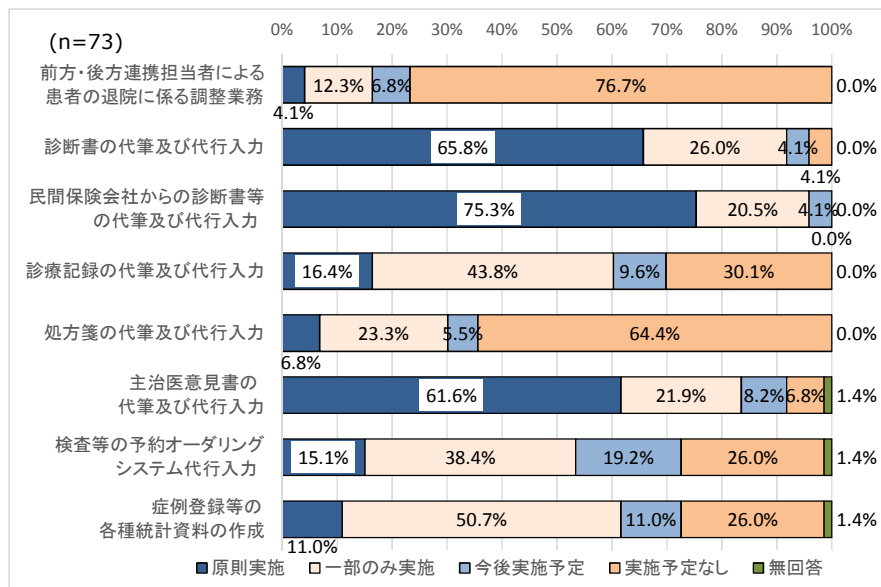
特定看護師の勤務している病院に限定
看護師等が行っている業務



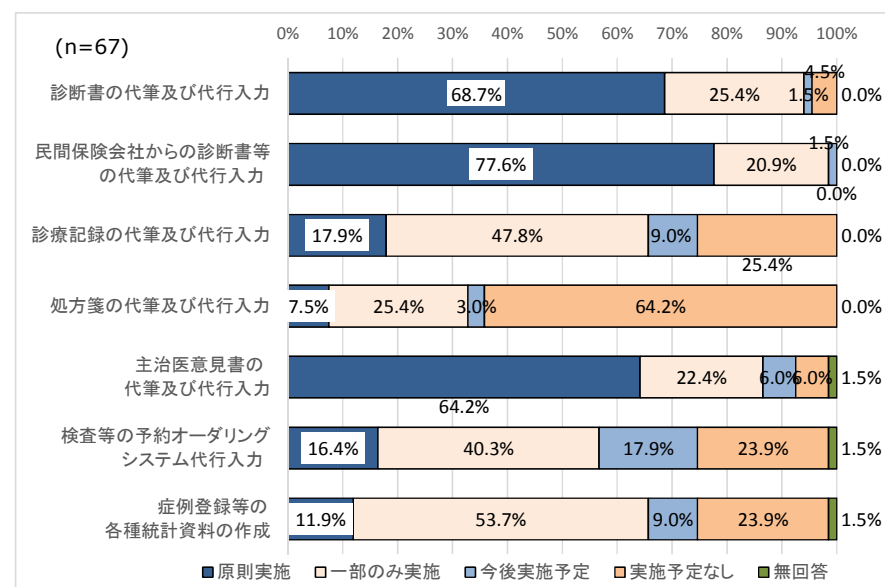
Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【医師事務作業補助者等が行っている業務】

- 73施設中67施設で、医師事務作業補助者を配置している。
- 診断書、民間保険会社からの診断書等及び主治医意見書の代筆及び代行入力等の業務は大半の施設で実施されている。

医師事務作業補助者が行っている業務



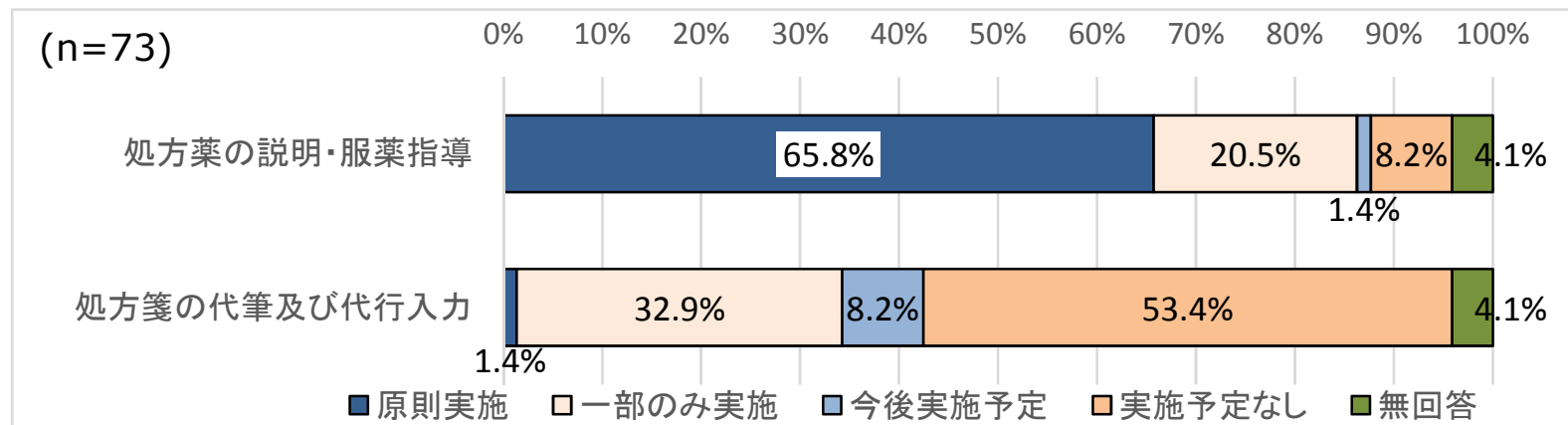
医師事務作業補助者が勤務している病院の
医師事務作業補助者が行っている業務



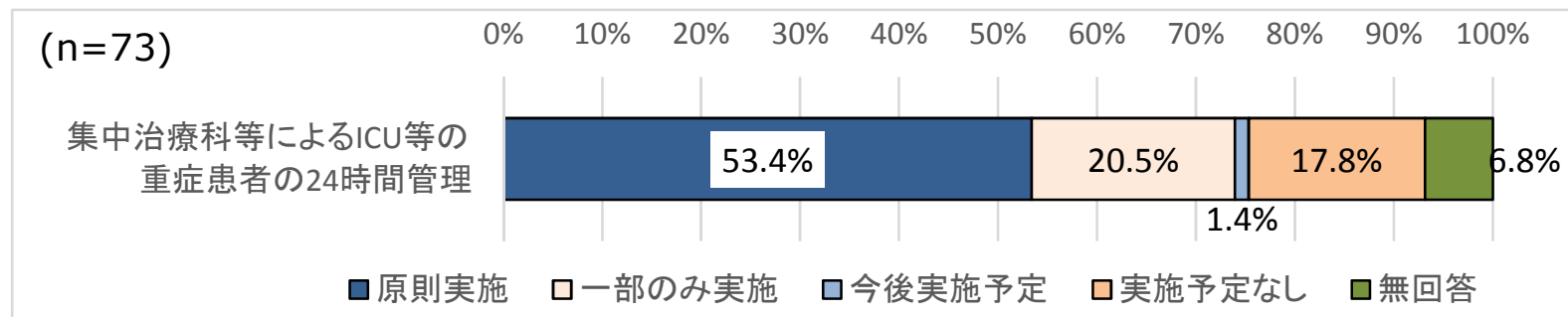
Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【その他職種、医師間の業務】

- 処方薬の説明・服薬指導は、原則医師以外のその他職種が実施している施設は65.8%。
- 集中治療科等によるICU等の重症患者の24時間管理を原則実施している施設は53.4%。

その他職種が行っている業務



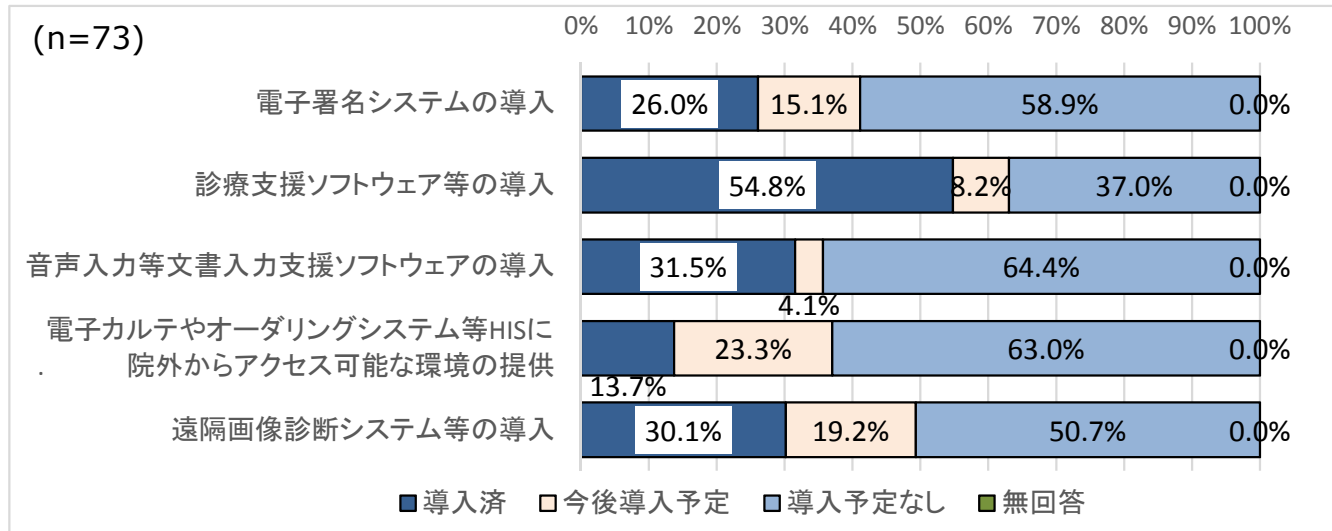
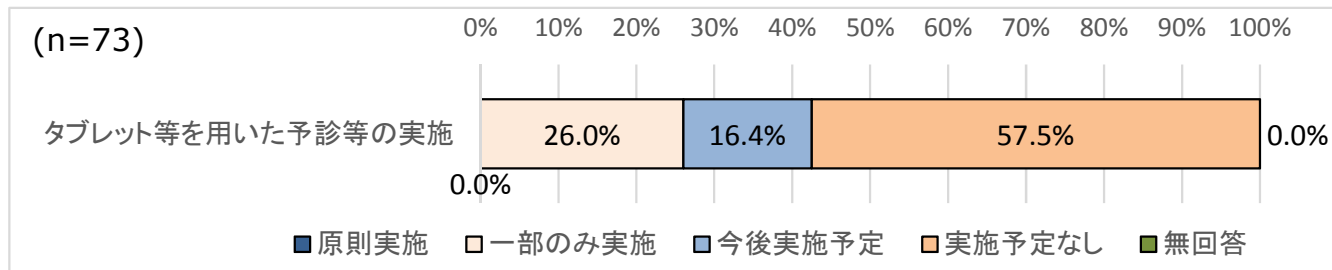
医師間のタスクシェアリングを行っている業務



Ⅱ. 勤務環境改善の状況：効率的な医療提供体制に向けた取り組み【その他】

- タブレット等を用いた予診等の実施は一部のみ実施と今後実施予定をあわせて4割以上。
- 診療支援ソフトウェア及び遠隔画像診断システム等の導入は、導入済と今後導入予定をあわせると半数程度。
- その他の取り組みについても、一定程度導入されている状況。

各種システムの導入状況



Ⅲ. 勤務環境改善策の効果

- 勤務改善策を実施している施設で短縮された、効果は限定的含め、何らかの効果があった施設は78.1%。
- 勤務改善策により医師の勤務時間が短縮せすと回答した施設は12.3%。

勤務改善策の実施によって、医師の勤務時間が短縮されたか

	件数	割合
短縮された	18件	24.7%
効果は限定的	39件	53.4%
短縮せず	9件	12.3%
改善策を実施していない	3件	4.1%
無回答	4件	5.5%
合計	73件	100.0%

勤務改善策を更に実施する予定がある場合、
医師の勤務時間が短縮される見込み

	件数	割合
短縮される見込み	18件	24.7%
効果は限定的である見込み	38件	52.1%
短縮しない見込み	4件	5.5%
改善策をさらに実施する予定なし	2件	2.7%
無回答	11件	15.1%
合計	73件	100.0%

上記改善策によっても、医師の勤務時間が短縮されない要因は何か

	件数	割合
医師の理解が得られないため	1件	2.1%
医師以外の職員の理解が得られないため	0件	0.0%
想定よりも上記改善策による勤務時間軽減効果が少ないため	27件	56.3%
その他	18件	37.5%
無回答	3件	6.3%
総数	48件	

勤務改善策を更に実施できない理由は何か

	件数	割合
医師の理解が得られないため	0件	0.0%
医師以外の職員の理解が得られないため	1件	50.0%
患者の理解が得られないため	0件	0.0%
経営的メリットが少ないため	0件	0.0%
改善効果が少ないと見込まれるため	0件	0.0%
無回答	0件	0.0%
総数	2件	

IV. 今後に向けて

- **36協定の締結や断続的な宿直又は日直勤務の許可申請が必要な施設については、適切な対応を徹底していきたい。**
- **大学病院の医師は、教育・研究・診療が一体となった働き方であることが特徴である。専門業務型裁量労働制の医師を雇用する施設も半数程度となっている。**
- **このため、労働時間管理は難しいと考えられ、労働時間管理方法でICカード等客観的な方法で記録を行っている施設は11.0%であった。**
- **また、短時間勤務等の女性医師を雇用している施設は90.4%であり、引き続きこうした取り組みを進めていきたい。**
- **看護師等が行っている業務として、点滴の実施、静脈ラインの確保、尿道カテーテルの留置及び静脈注射の原則実施の割合は50.7~65.8%と低く、タスク・シフティングの余地がかなりあると考えられる。**

IV. 今後に向けて

- 特定看護師が勤務している施設は32.9%である。また、特定看護師の勤務している施設にも関わらず、例えば、腹腔ドレーンの抜去等については、原則実施と一部のみ実施をあわせても4.2%である。引き続き、タスク・シフティングを進めていくと同時に、行政の支援も必要。
- 医師の出席義務のある院内各種委員会会議は平均67会議、開催回数は平均約356回、開催時間は平均約53分であり、大学病院の特徴として、会議が多いこともあげられる。これに対して、会議の開催方法を見直した施設は17.8%、検討中は41.1%と見直しが進んでいるところ。
- 医師事務作業補助者の配置はかなり進んでおり、医師事務作業に関するタスク・シフティングも進んでいる。さらに充実させていきたい。
- 一般外来患者数を減らす取り組みはかなり進んでいるといえる。引き続き取り組んでいきたい。
- タブレット等を用いた予診等の実施は一部のみ実施と今後実施予定をあわせて40%以上、診療支援ソフトウェア及び遠隔画像診断システム等の導入は、導入済と今後導入予定をあわせると半数程度。こうした先進的な取り組みについても進めていきたい。

IV. 今後に向けて

- 勤務改善策の実施によって、医師の勤務時間が短縮せずと回答した施設は12.3%であり、勤務環境改善策によって、勤務時間の短縮が可能であることが示されたといえる。
- 大学病院の医師は、教育や研究（自己研鑽を含む）を実施する際には患者の診療を行いながら行う必要があり、診療、教育、研究の3つの活動がそれぞれモザイク状に混在するといった働き方の特性を有している。
- 大学病院で働く医師をはじめ診療をしながら教育、研究を行う医師という仕事の特性に十分配慮していただきたい。
- 大学病院の医師が意欲と希望をもって診療、教育、研究に打ち込むことができるよう配慮していただきたい。
- 医師の負担軽減のため医師事務作業補助者等の活用、他職種へのタスクシフティングなどを十分に行えるよう、国は制度的、財政的支援をしていただきたい。